

PHOTO REPORT 2008

# かなざわ

平成20年度 当初予算を中心として



# 金沢魅力発信行動年

世界へ金沢の魅力を発信し  
市民のくらしと安全を守る  
改革実行予算





金沢市長

## 山出 保

平成20年度予算は、「金沢魅力発信行動年 世界へ金沢の魅力を発信し 市民のくらしと安全を守る 改革実行予算」として、過日成立をみました。

市政は今、大きく動き始める時期にあります。本年度を「金沢魅力発信行動年」と位置付け、「創造都市金沢」、「世界都市金沢」の実現をめざし、世界都市推進会議からの提言や金沢魅力発信行動計画の具現化に向けて、まちの魅力を高め、ものづくり産業の基盤強化を図るとともに、市民生活の安全・安心の確保、医療や福祉の充実、時代の変化に即応できる教育体制の整備と個性豊かな人材の育成のほか、快適環境の創造に積極的に取り組んでまいります。

### 予算額

一般会計 1,521億 890万円 (19年度比0.4%減)  
※実質 1,495億7,800万円 ( 〳 0.4%減)

全会計で 3,091億5,065万4千円 (19年度比12.3%減)  
※実質 3,001億6,275万4千円 ( 〳 11.6%減)

※借換を除く実質

景気の先行きが不安視され、税収にも多くを期待できない中で、社会保障費等の義務的経費が増加するなど、依然として厳しい財政状況の下、魅力あふれるまちづくりや少子高齢化対策など、ハード・ソフトの両面にわたる諸課題の解決前進に鋭意対処するとともに、市債の計画的な繰上償還や新規起債の抑制を図り、財政調整基金の取り崩しや退職手当債の発行を避け、定員の適正化に努める一方、将来の財政需要に備えて基金を積み増すなど、中長期を見据えた健全な財政運営に意を用いました。

### 6つの重点施策

- 1 金沢の魅力を発信する
- 2 ものづくりでまちを元気にする
- 3 健康で安心できるくらしをつくる
- 4 安全で快適な生活環境を整える
- 5 時代を拓き心やさしい人を育てる
- 6 行財政運営の質を高める

### DATA-KANAZAWA

金沢市の面積



467.77 km<sup>2</sup>

金沢市の人口



455,067人  
(平成20年4月1日現在)

金沢市の世帯数



185,888世帯  
(平成20年4月1日現在)

# 金沢の魅力を発信する

北陸新幹線の開業に向けて、「金沢魅力発信行動計画」の実践に取り組み、歴史文化遺産の保存・整備や美しい都市景観の形成、中心市街地の活性化と公共交通の利用促進など、まちの魅力を磨き高めるとともに、国内外からの誘客を促進し、賑わいの創出と交流の推進に努めます。

## 世界都市・金沢の実現

「国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット」が開設されるほか、世界都市推進会議からの提言を受けて、ユネスコの「創造都市ネットワーク」への登録を申請するとともに、今秋には「世界創造都市フォーラム（仮称）」を開催します。



いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット開所式

## 北陸新幹線の建設促進

金沢駅・白山総合車両基地（仮称）間の用地取得に拍車をかけるとともに、JR西金沢駅周辺では、自由通路や橋上駅舎などの実施設計に着手するほか、金沢駅西広場の再整備に向けた予備設計や周辺地域の開発可能性調査に取り組みます。



新幹線開業に向けた準備に取り組んでいきます

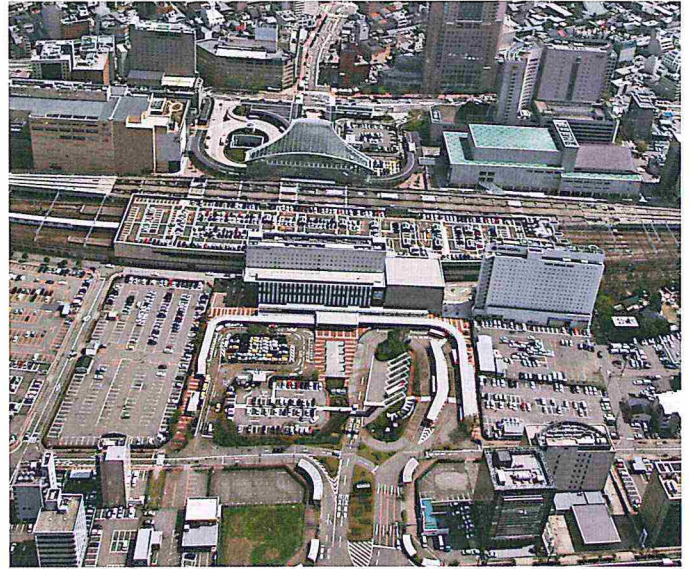


建設が進む北陸新幹線





西金沢駅整備完成予想図



金沢駅西広場の再整備に着手します

## 町家の再生

町家を保存・継承し、活用していくために、店舗や貸家、宿泊施設として再生するモデル事業に取り組みます。



町家の保存と活用



町家を活用した音楽会

## 都市景観の形成

美しい都市景観を形成するため、地域の特性を生かした景観計画を策定し、地域ごとに規制や誘導を図っていくとともに、屋外広告物の規制強化に向けた条例改正を検討します。



景観に配慮して縮小された道路標識



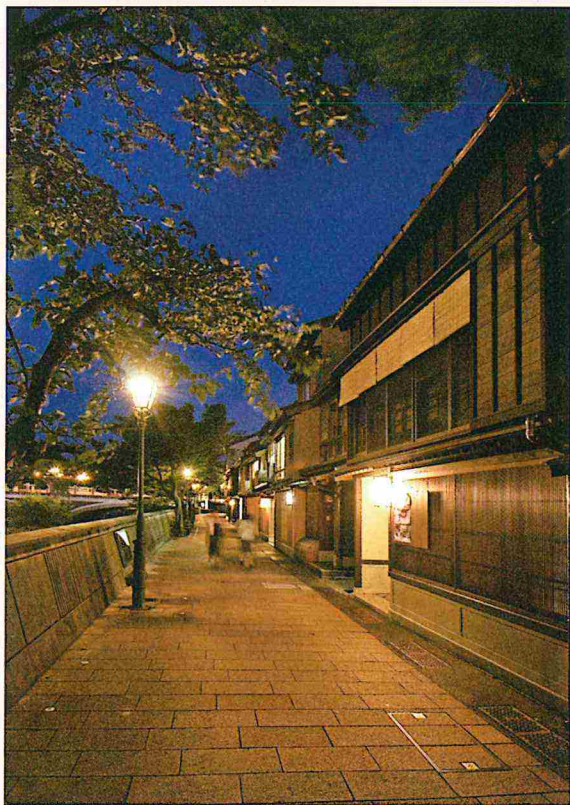
卯辰山から望む黒瓦の風景

## 歴史文化遺産の保存・整備

国の「歴史都市」の第1号認定をめざし、歴史的風致維持向上計画を策定するほか、野田山の前田家墓所について、国史跡指定の手続きを進めるとともに、加賀八家墓所の詳細調査や歴史的景観等に配慮した野田山墓地の整備基本計画の策定に取り組みます。また、重要伝統的建造物群保存地区の選定の申し出を行った主計町では、西内惣構堀の復元整備に向けた発掘調査に取り組むほか、平成21年度の国史跡指定をめざす辰巳用水では、尾山神社前における開渠化や三段石垣の詳細調査に着手します。



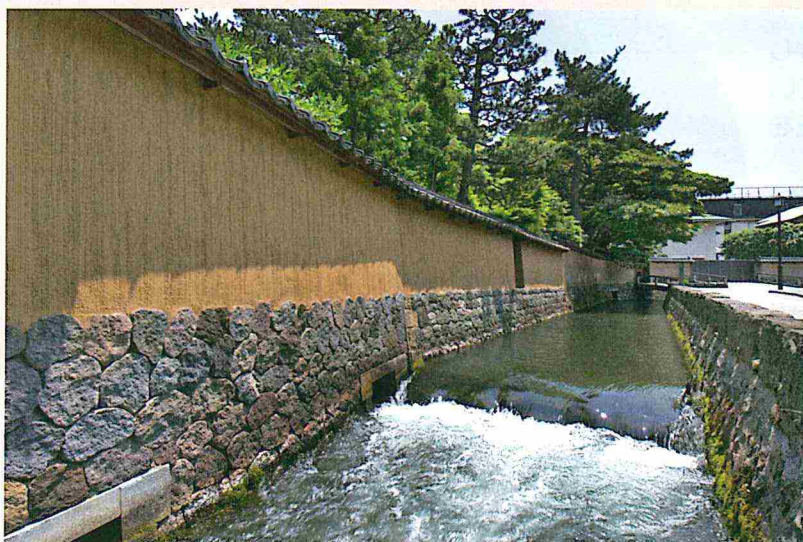
野田山の前田家墓所



重要伝統的建造物群保存地区に選定予定の主計町

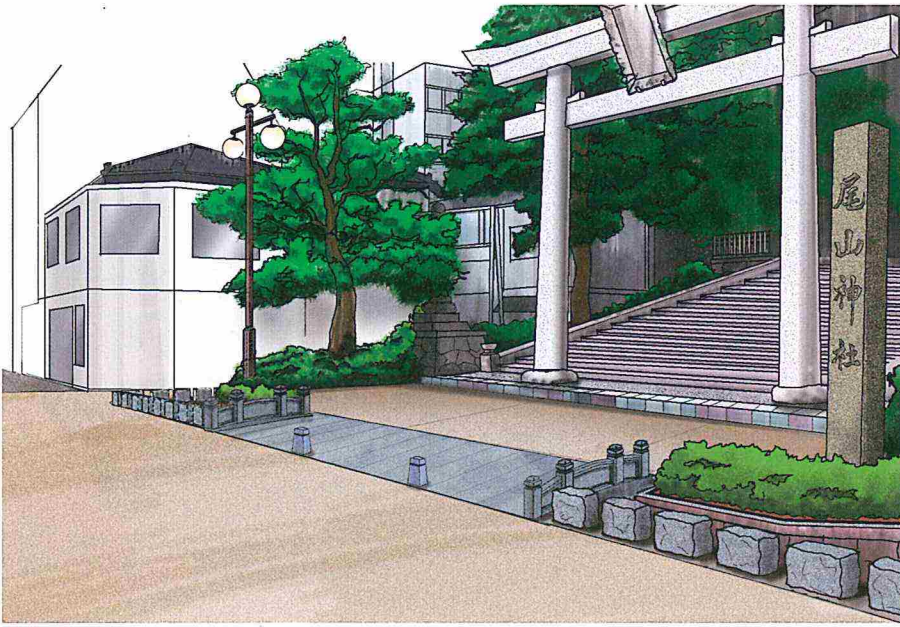


にし茶屋街

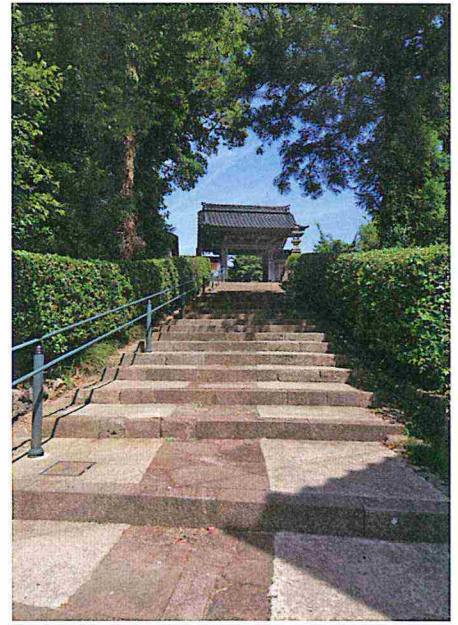


大野庄用水（武家屋敷）





辰巳用水が開渠化される尾山神社前



卯辰山山麓寺院群



寺町寺院群



小立野寺院群

## 中心市街地の活性化

近江町市場の再整備では、明年3月の完成に向けて施設建築物の建設を推進するほか、商店街の空き店舗や町家などを活用し、まちなかにアート作品を展示する「金沢アートプラットフォーム2008」を開催します。このほか、安江金箔工芸館を移転し、「金箔技術振興研究所（仮称）」を併設した世界で唯一の金箔博物館として整備します。



ファッション関連店舗の集積をはかります



再整備の進む近江町市場

## 歩行者と公共交通優先のまちづくり

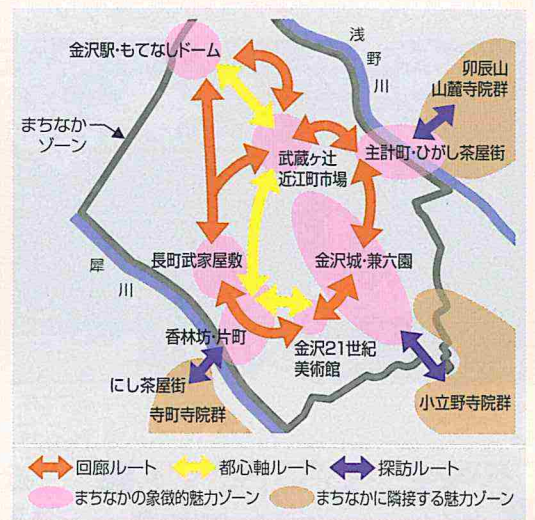
市内中心部の新しい交通システムとなる「まちなかシャトル」の導入調査を実施するとともに、路線バス型まちバスの運行実験を支援するほか、秋には、ふらっとバス長町ルート<sup>①</sup>の運行を開始します。また、歴史的なまちなみなどを歩行者が快適に回遊できる「まちなか歩行回廊」の整備に着手する一方、地域と行政が一体となって、まちなかにおける地域交通のあり方などを検討します。



ふらっとバス「長町ルート」を開設します  
(写真は「菊川ルート」)



金沢駅と都心部を結ぶ「まちバス」



まちなか歩行回廊のイメージ

## 観光交流の推進

北陸新幹線の開業や東海北陸自動車道の全線開通を見据え、首都圏や中京圏などからの誘客を図るほか、明年度と平成21年度を「台湾誘客集中イヤー」と位置付け、台北国際旅行博への出展などの施策を展開するとともに、外国語による案内や宿泊施設等での接客力の向上を図るなど、外国人観光客の受入体制を強化します。

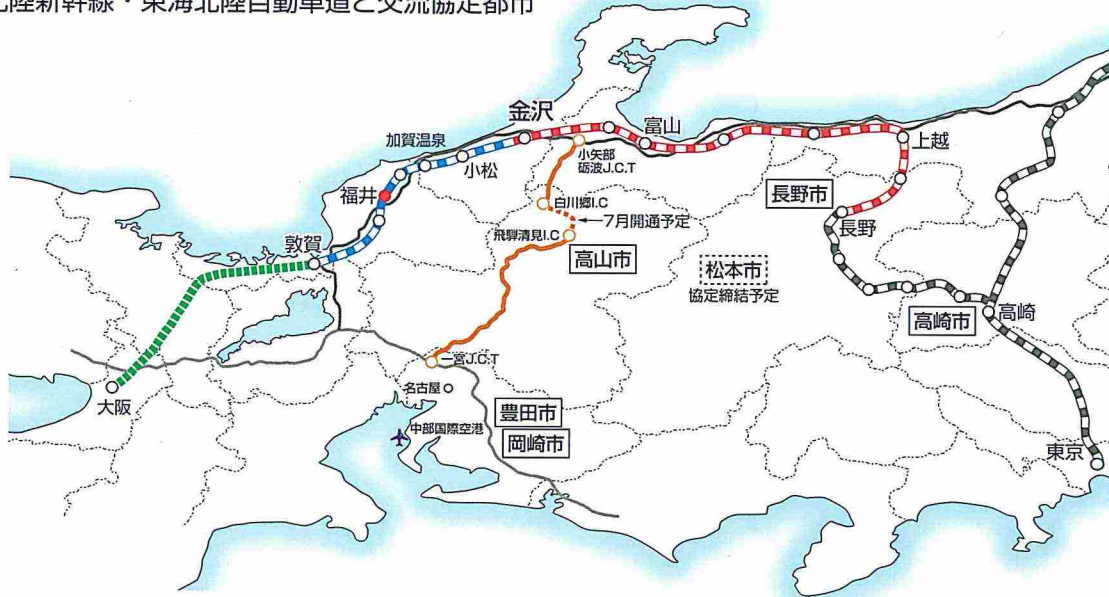


金沢駅「もてなしドーム」



観光ボランティアガイド「まいどさん」

北陸新幹線・東海北陸自動車道と交流協定都市



- 【凡例】**
- 市名 交流協定都市
  - 北陸新幹線
    - 建設中の区間
    - 工事実施計画申請中の区間
    - 駅・ルート未公開の区間
  - 東海北陸自動車道
    - 開通区間
    - 建設中の区間



ひがし茶屋街



台北国際旅行博へ出展します



茶道を体験する外国人

# ものづくりでまちを元気にする

金沢港大水深岸壁の整備を機に、企業誘致を進めるとともに、技術力の向上をめざし、技能士顕彰制度を創設するほか、農林産物のブランド化や新たな担い手の育成に努め、ものづくり産業の基盤強化を図ります。また、雇用の安定に努め、中小企業等への影響を考慮し、引き続き、原油価格の高騰対策や資金繰りについて支援します。



ものづくりの伝統を伝える金沢職人大学校



ものづくり産業の基盤となる企業の進出を促します

## 金沢港の整備促進

大型船舶が寄港できる大水深岸壁の水深12メートルでの供用開始に向けて、整備を促進します。



大水深岸壁の整備が進む金沢港



コンテナヤード



入港する豪華客船

## 企業誘致の推進

港湾活用型企業の誘致を進めるため、企業の立地動向を把握し、中長期的な企業誘致戦略の検討を進めるとともに、東海北陸自動車道の全線開通を好機として、企業活動が盛んな中京圏からの企業誘致に取り組みます。



## ものづくり産業の基盤強化

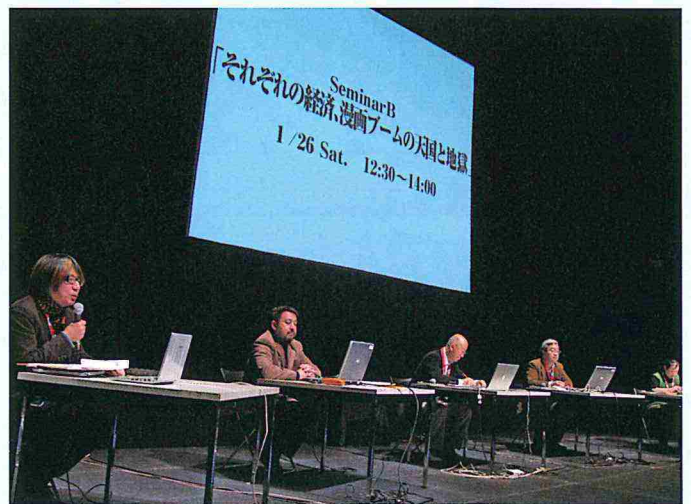
平成21年度の開館に向けて、「北部地区ものづくり交流・研修会館（仮称）」の建設工事に着手するほか、ものづくりの理念と市の責務や企業市民としての自覚などを盛り込んだ「ものづくり条例（仮称）」の制定をめざします。加えて、ファッションウィークの開催やイト金沢によるコンテンツ産業の育成を支援します。



ライフ＆ファッション 金沢ウィーク



金沢の伝統工芸品産業金沢箔



eAT KANAZAWA 2007

## ものづくりでまちを元気にする

### 農林業の振興

加賀野菜のブランド力と加工流通体制の強化を図る一方、担い手を育成するため、農業大学の修了生の自立を支援するとともに、金沢林業大学校（仮称）の開校準備を進めます。



金沢農業大学校第1期生修了式



加賀野菜ブランドを確立します



林業の新たな担い手の育成に努めます



金沢産材を活用した教室（内川小学校）

### 原油価格高騰対策

原油価格の高騰に伴う影響を考慮し、中小企業や農林漁業者等に対する制度融資の特別枠と利子補給制度を1年間延長します。



中小企業の資金繰りを支援します

# 健康で安心できる暮らしをつくる

市民の健康づくりを推進するため、健康診査の充実と円滑な実施に努めるほか、子どもからお年寄りまで、誰もが健やかで安心して暮らせるよう、また、障害のある方とともに生きるまちをめざして、福祉施策を充実するとともに、子育てしやすい環境を整え、市民みんなで子どもを育みます。



子育てを支援します（駅西こども広場）



福祉用具が体験できる福祉用具情報プラザ

## 福祉施策の充実

認知症の早期発見と対応を図るため、もの忘れ予防のモデル事業を実施するほか、次期介護保険事業計画を策定するとともに、小規模特別養護老人ホームの整備を支援し、介護保険サービスの基盤強化を図ります。また、障害者自立支援制度における利用者負担の軽減や事業者への激変緩和措置を継続するとともに、税制改正による低所得者の負担に配慮し、医療費やタクシー利用の助成にかかる所得要件を緩和します。



介護予防教室

## 少子化対策（子育て夢プラン）の推進

地域の子育て支援拠点である子育て夢ステーションを拡充するとともに、子育てと仕事の両立を支援するため、病児一時保育を行う医療機関や児童クラブを増設します。また、保育所の改修や小規模保育所の運営を支援するほか、子育て支援やひとり親家庭等の医療費助成制度に自動償還払い制度を導入し、申請に要する負担を軽減します。



近江町ちびっこ広場（仮称）完成予想図

## 児童相談所の機能強化

明年4月の一時保護施設の開設に向けて、建設工事に着手するとともに、専門職員を増員し、機能の強化を図ります。



児童相談所一時保護施設を整備します

## 市民の健康づくり

健康診査については、特定健診などで国の制度改正が始まる中、これまでと同様に受診できるよう、市独自に検査項目の充実や負担の軽減に努める一方、すこやか検診では、胃がん検診に内視鏡検査を導入し、集団検診では、若年者健康診査や骨粗しょう症、前立腺がん検診を追加するなど、対象拡大と内容の充実を図ります。



健康診査を充実させます

## 地域医療の充実

市立病院では、経営改善基本計画を策定し、新たに呼吸器センターの開設に向けた準備を進めるとともに、電子カルテの開発に着手するなど、質の高い医療の提供と経営の健全化に取り組めます。



市立病院



職種を越えたチーム医療を推進するメタボリックシンドロームセンター

## DATA-KANAZAWA

10万人当たりの医師

**394.8人** (平成18年10月1日現在)

# 安全で快適な生活環境を整える

安全こそ最大の福祉との観点から、住宅の耐震化や雨水対策のほか、食の安全をはじめとする市民生活全般における安全・安心の確保に努めます。また、まちなかの狭小な土地の有効活用や老朽建築物の再生など、住みやすいまちづくりを進めます。加えて、環境に配慮した持続可能な社会の実現をめざし、次期環境基本計画を策定するとともに、西部クリーンセンター新工場の建設に取り組みます。

## 災害対策の強化

地震による被害を未然に防ぐため、民間の木造住宅の耐震化を促進すべく、助成制度を拡充します。また、突発的な水害に備え、下水道雨水幹線の築造を推進し、浅野ポンプ場の施設改良を行うとともに、新たに大野川や森下川などの洪水避難地図を作成し、流域の住民に周知するほか、民間の雨水貯留浸透施設の設置に対する助成制度を創設します。



木造住宅の耐震診断



下水道雨水幹線の築造を推進します

## 生活の安全・安心の確保

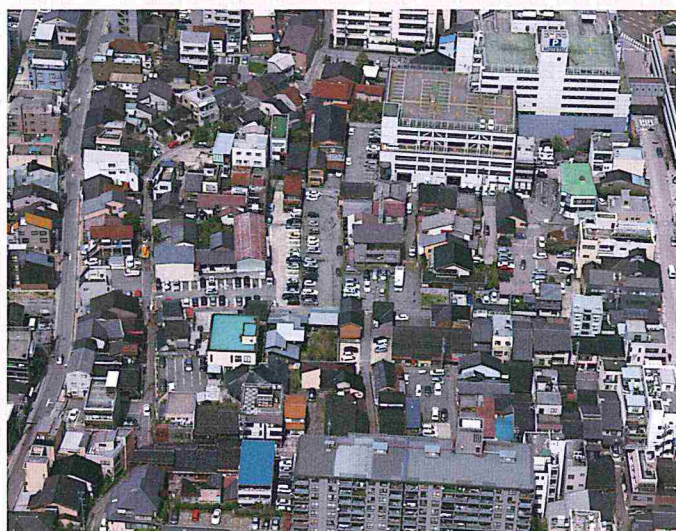
食の安全・安心を確保するため、保健所において、食品製造施設への立入検査、輸入野菜や冷凍食品等の検査を強化するとともに、中央卸売市場では、「食品検査・相談室」を設置し、生鮮食品の安全確保に努めます。さらに、BS E対策として、20か月齢以下の牛について、引き続き全頭検査を実施します。



食の安全・安心の確保に努めます

## 「まちなか整備金沢手法」の実践

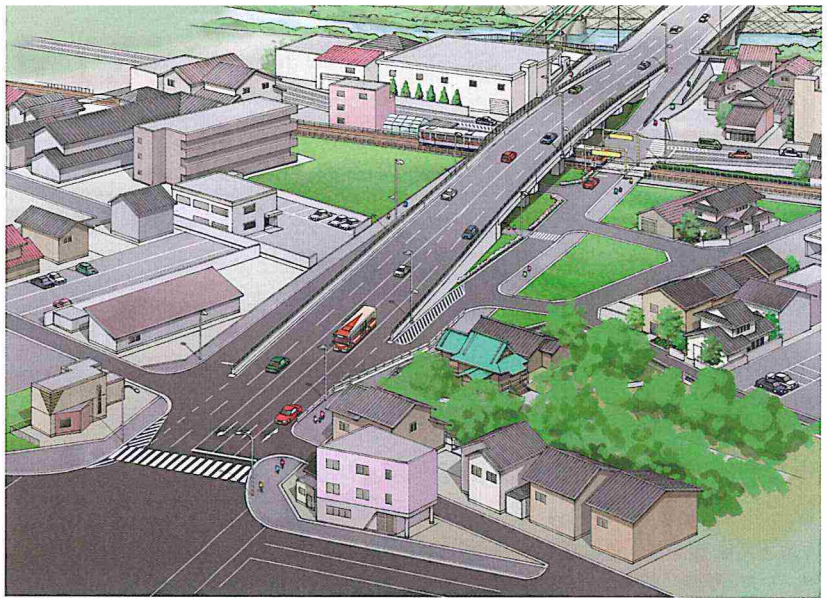
居住環境や防災機能の向上を図るため、まちなかの住宅密集地で区画整理手法等を用い、狭小な低・未利用地の再整備を進めるとともに、都心軸沿いの老朽建築物の再整備手法を検討するほか、子育て世代に対する住宅建築奨励金の対象年齢を引き上げ、定住の促進を図ります。



狭小な低・未利用地の再整備を進めます

## 環状道路の整備

外環状道路海側幹線では、鞍月・大河端間の整備を推進するとともに、山側環状では、国において、鈴見交差点の立体化工事に着手するほか、内環状道路の足田上荒屋線では、北安江地内の高架橋建設工事に着手します。



足田上荒屋線（北安江）の高架橋工事に着手します

## 森林の再生

子どもたちと種子から樹木を育て、戸室新保地内に植栽する「実生の森づくり」や金沢海岸全域における美しい松林の再生など、市民や企業とともに、森林の再生に取り組みます。



美しい森林を再生します



子どもたちに森林の大切さを伝えます

## 持続可能な社会の構築

市民・事業者と協働して、次期環境基本計画を策定するとともに、低炭素社会の構築をめざし、木くずなどの未利用エネルギーの活用方を検討します。また、廃棄物処理施設の整備では、西部クリーンセンターの新工場の建設に着手するほか、引き続き次期埋立場の実施設計に取り組みます。



次期埋立場の建設準備を進めます



新工場の建設に着手する西部クリーンセンター

## DATA-KANAZAWA

金沢市のごみ収集量

111,768t (平成18年度)

一人当たりのごみの量

245.9kg (平成18年度)

# 時代を拓き心やさしい人を育てる

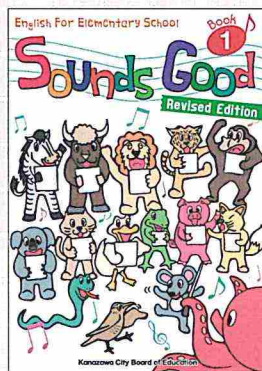
「学校教育金沢モデル」の一層の充実を図るとともに、玉川こども図書館の開館を機に、子どもたちが本に親しむ環境づくりに取り組みます。また、市立工業高等学校では、「工業教育金沢モデル」を推進するほか、美術工芸大学では、公立大学法人移行に向けた準備に着手するなど、将来を担う人材の育成に努めます。このほか、集合住宅におけるコミュニティの形成を図り、市民と一体となって、マナーの向上に取り組みます。

## 「学校教育金沢モデル」の充実

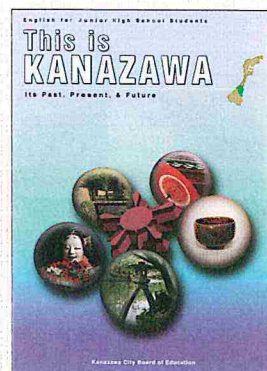
学校教育金沢モデルを支える優秀な人材を育成するため、実践研修拠点校を指定し、教育現場における研修の充実を図るほか、英語教育の充実と今後のあり方を検討するため、「全国小中一貫英語教育推進有識者会議（仮称）」を設置します。加えて、いじめや不登校など、子どもたちの心に関わる悩みの相談や学習支援体制の充実を図るため、心と学びの支援員を増員します。



英語授業の様子



金沢市が独自に作成した  
小中学校英語副読本



## DATA-KANAZAWA

教員数

5,546人 (平成19年5月1日現在)

園児・児童・生徒・学生数

80,071人 (平成19年5月1日現在)

## 快適な教育環境の整備

森本小学校体育館の改築に向けた実施設計や長坂台小学校校舎の大規模改造に着手するほか、中学校校舎の耐震補強のための実施設計に取り組みます。また、近年の少子化や土地区画整理事業などに伴う居住状況の変化を踏まえ、通学区域のあり方について調査研究するほか、学校施設の老朽度や耐震性を考慮した整備計画を策定します。



元気に通学する子どもたち



学校校舎の耐震化を推進します

## 子どもを育む行動計画の実践

この秋の玉川子ども図書館の開館に向けて、整備を進めるほか、伝統工芸を通じて、子どもたちにもづくりの楽しさを伝え、工芸の素質を磨き育てるため、金沢工芸子ども塾を開講するとともに、金沢子ども工芸財団を設立します。



玉川子ども図書館完成予想図



子どもを育む行動計画



絵本の読み聞かせに聞き入る子どもたち



「金沢工芸子ども塾」を開設します

## 生涯学習・市民スポーツの振興



金沢西部図書館（仮称）建設予定地

まちなかの新たな生涯学習拠点となる「近江町交流プラザ（仮称）」の整備を進めるとともに、金沢西部図書館（仮称）の基本・実施設計に着手するほか、子どもから高齢者までが親しむことのできるマレットゴルフ場やグラウンドゴルフ場を整備します。



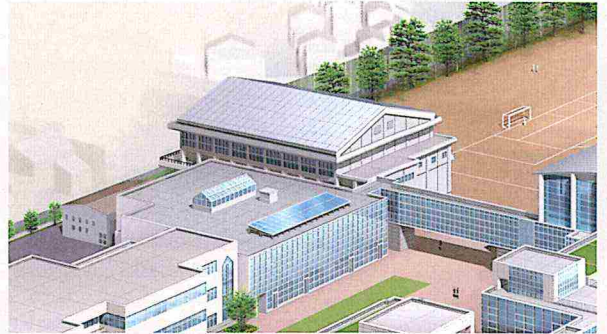
親子がふれあう市民スポーツ

## 「工業教育金沢モデル」の推進

市立工業高等学校では、新しい職業教育システムの構築とものづくりを担う人材の育成をめざし、「工業教育金沢モデル」の実践に努めるとともに、教育環境の充実を図るため、第2実習棟の建設工事に着手します。



「工業教育金沢モデル」を推進します



市立工業高校第2実習棟完成予想図

## 美術工芸大学の充実

「美術工芸大学法人化準備室」を設置し、平成22年度の移行に向けた準備に取り組みます。



金沢美術工芸大学

## 協働のまちづくりの推進

地域における連帯意識を醸成し、市民一人ひとりの市政への参加を促すため、「集合住宅コミュニティ条例(略称)」を制定し、支援制度や相談体制を充実することにより、コミュニティ組織の形成を促進します。



学生の雪かきボランティア



地域コミュニティの活性化を支援します

# 行財政運営の質を高める

地方分権改革が進められる一方で、地方自治体には、分権の担い手にふさわしい行財政基盤の確立と政策形成能力が求められています。行政改革実施計画と中期財政計画の実践に努め、健全財政を堅持するとともに、職員の資質・能力を高め、市民サービスの向上に工夫を凝らします。

## 行財政改革の推進

### ●定員管理の適正化

定員適正化計画に基づき、総定数を55人削減

### ●事務事業の見直し

行政評価等により、53事業を廃止

### ●健全財政堅持のための市債の繰上償還

当初予算に5億円を計上

ほかに政府資金等の繰上償還を実施

### ●市債発行の抑制

市債依存度の減少

### ●将来を見据えた基金の積立

学校等公共施設整備積立基金、廃棄物処理施設整備積立基金、公共施設維持補修基金の積立

### ●土地開発公社の健全性の維持

安全とされる標準財政規模に対する土地保有の割合25%以内を堅持

### ●職員の資質・能力の向上

人材育成実行計画の策定、分権型職員研修の充実

## 市民サービスの向上

### ●市民の利便性向上

子育て支援及びひとり親家庭等医療費助成制度に自動償還払い制度を導入

### ●市民負担の軽減

国民健康保険料の実質負担の増加に配慮し、一般会計から特別に繰り出し

心身障害者医療費助成及び福祉タクシー利用助成制度の所得要件を緩和

保育料を10年連続据置

### ●広域行政の推進

平成20年4月から、かほく市、津幡町及び内灘町と本市の消防通信指令事務の共同運用を開始

平成20年8月から、証明書等の広域窓口サービスを小松市、加賀市、能美市にも拡大

## 機構の改革

### 重点行政課題への対応

### ●魅力あるまちづくりの推進

文化の振興を図り、ものづくり施策の推進体制の強化や市街地における居住環境の整備を図るなど、まちの魅力をさらに高めます。

●金沢固有の文化を国内外に発信するため、都市政策局の文化スポーツ部を文化交流部に改称し、圏域交流課と国際文化課を文化政策課と国際交流課に改編

●市民スポーツの振興を図るため、スポーツ振興課を市民スポーツ課に改称し、市民局に移管

●ものづくり施策を総合的に推進するため、工業振興課をものづくり政策課に改称

●まちなか整備金沢手法を推進するため、再開発課と区画整理課を統合し、市街地再生課に改編するとともに、金澤町家の継承と活用を促進するため、町家再生推進室を設置

### ●安全・安心のまちづくりの推進

医療制度改革に対応する体制を強化し、自然災害など市民の安全安心の確保に努めます。

●市民の健康づくりを推進するため、保健衛生課を健康総務課に改称し、泉野、元町、駅西の3福祉健康センターを統括

●医療制度改革への確に対応するため、健康保険課を医療保険課に改称し、福祉健康局に移管

●市民の安全対策を充実するため、防災安全課を防災管理課に改称し、防災管理監を配置

●企業局の安全管理体制を強化するため、経営企画部内に安全対策室を設置

●通信指令事務の2市2町共同運用開始に併せ、統制指令課を情報指令課に改称

### ●環境にやさしいまちづくりの推進

地球温暖化防止など環境対策を強化し、クリーンセンター新工場建設のための体制を整えるなど、環境に配慮した取り組みを進めます。

●低炭素社会や循環型社会の形成など政策立案部門を集約し、監視・指導業務の連携強化を図るため、環境局内を環境政策課、環境指導課、リサイクル推進課及び施設管理課に再編

●新工場の建設に伴い、施設管理課内に西部クリーンセンター新工場建設事務所を設置

### ●個性豊かな教育の実現

新たな図書館の整備、美術工芸大学の法人化及び市立工業高等学校の改革など、個性豊かな教育を推進します。

●西部地区の図書館開設準備のため、企画調整課内に金沢西部図書館開設準備室を設置

●平成20年秋の開館に備え、都市政策局の玉川こども図書館開設準備室を教育委員会に移管

●美術工芸大学の法人化準備のため、総務局内に美術工芸大学法人化準備室を設置

●工業教育金沢モデルを実践するため、教育委員会学校教育部内に市立工業高等学校教育改革推進室を設置

### ●効率的な組織運営による行政改革の推進

組織のスリム化及び所管事務の見直しにより効果的な行政運営に努めます。

●市民課内に生活衛生室を設置し、墓地及び斎場の業務を保健衛生課から移管

●平成21年4月の開設に向け、市民課内に近江町交流プラザ開設準備室を設置

●教育プラザ富樫の研修センターを研修相談センターに改称

●企業局の研修体制を強化するため、技術指導室を検査員室と技術技能研修センターに改編

●所期の目的達成により、滞納整理室を廃止

●事業完了に伴い、栗崎地区工業用地等建設事務所を廃止

●西部及び臨海水質管理センターの業務を企業局水処理課に集約し、両水質管理センターを廃止

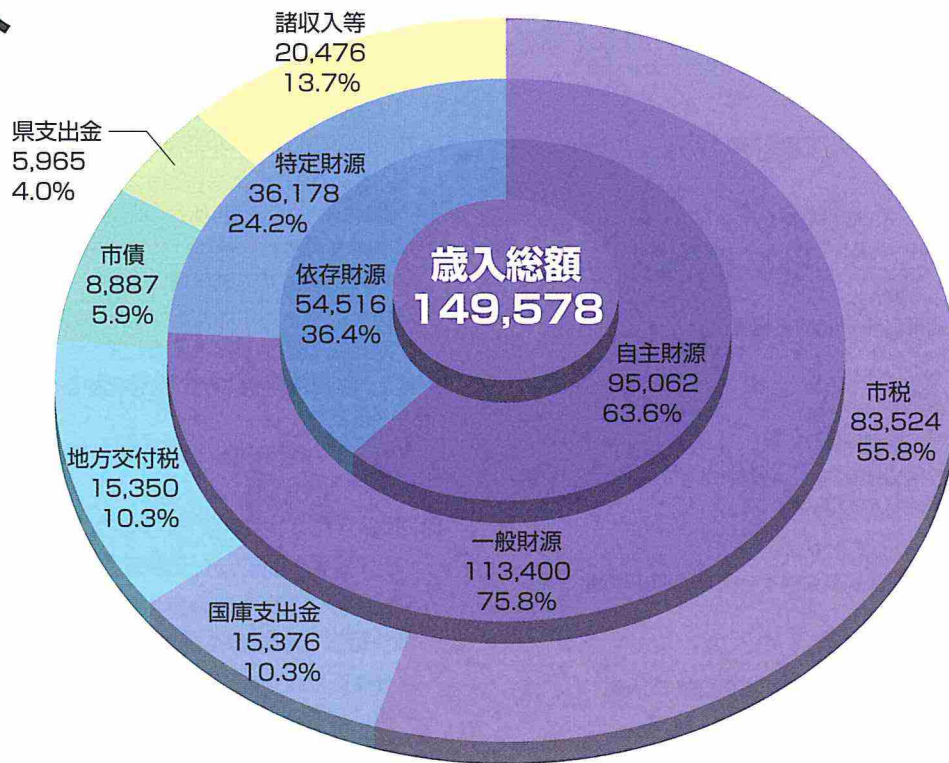
●長町研修館、熱量変更支援室(平成19年10月)、放牧場(平成19年12月)を廃止

# 金沢市財政の概要

## 1. 平成20年度予算の状況 (借換を除く実質)

### 1. 歳入

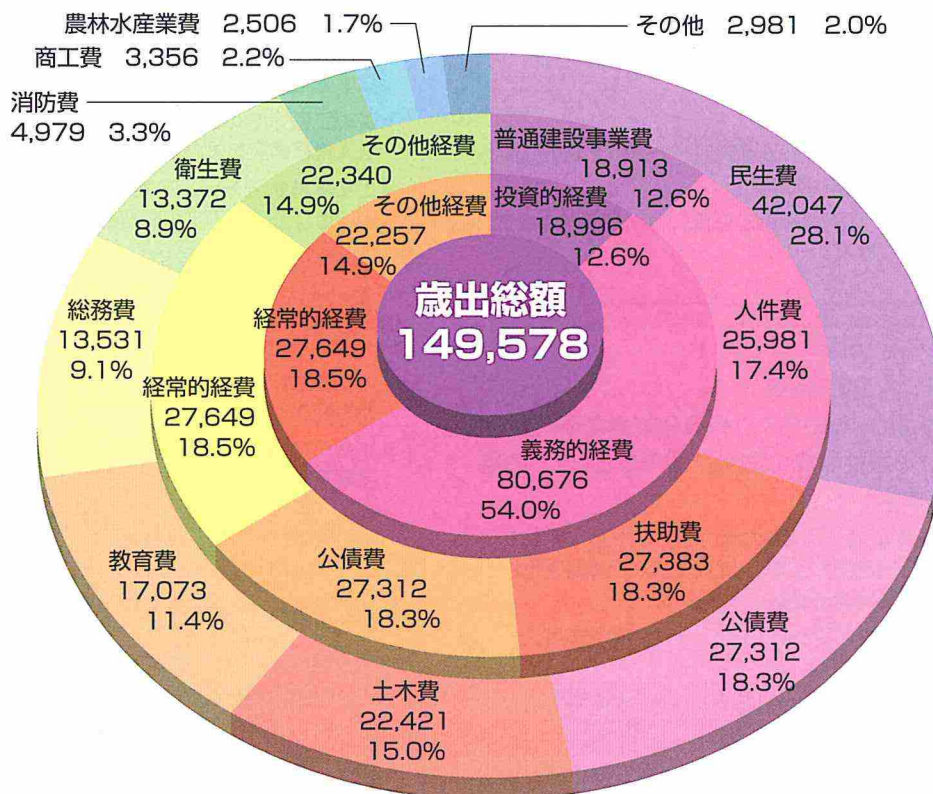
(単位：百万円)



(注) 1. 「自主財源」とは、市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金および諸収入をい、  
「依存財源」とは、地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債および各種交付金をいう。  
2. 「一般財源」とは、市税、地方譲与税、地方交付税など、用途の特定されていない収入をい、  
「特定財源」とは、一般財源以外で性質上充当される経費が特定されている収入をいう。

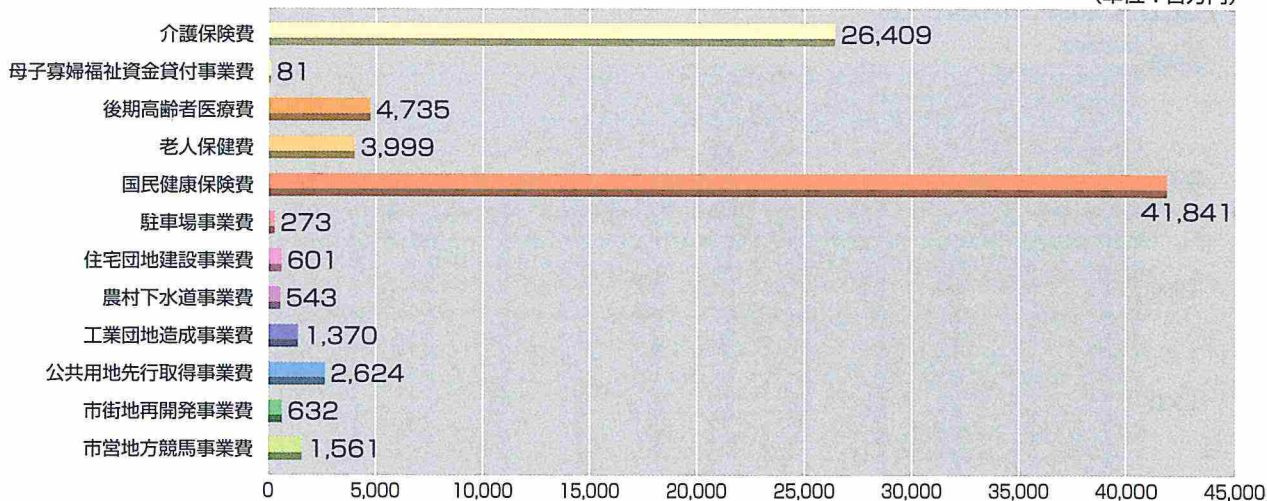
### 2. 歳出

(単位：百万円)



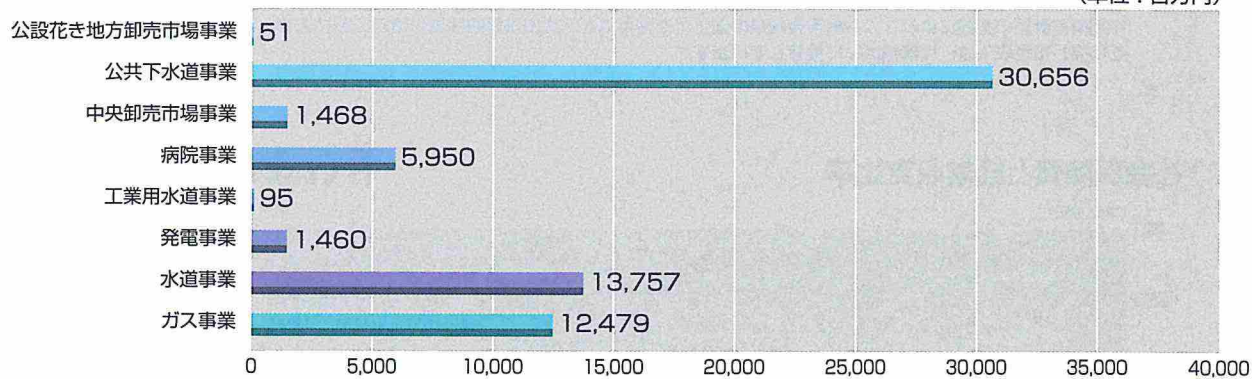
### 3. 特別会計

(単位：百万円)



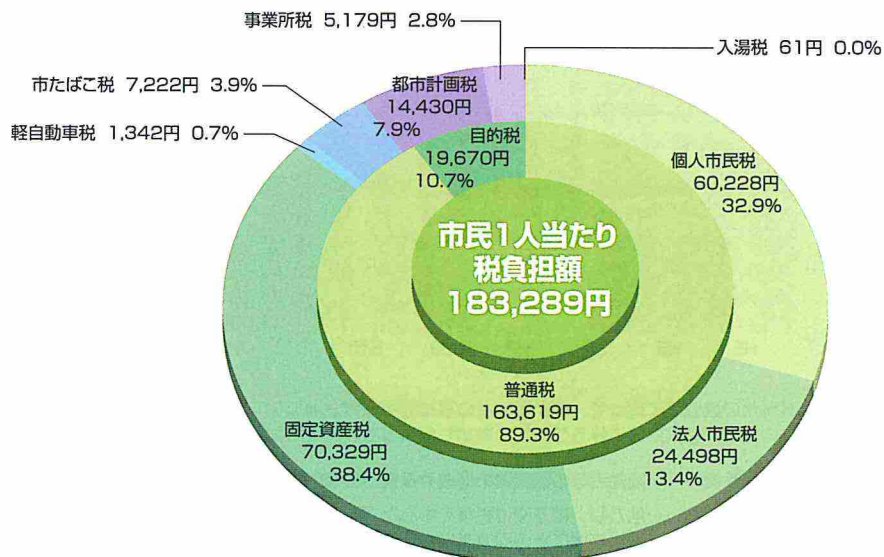
### 4. 企業会計

(単位：百万円)



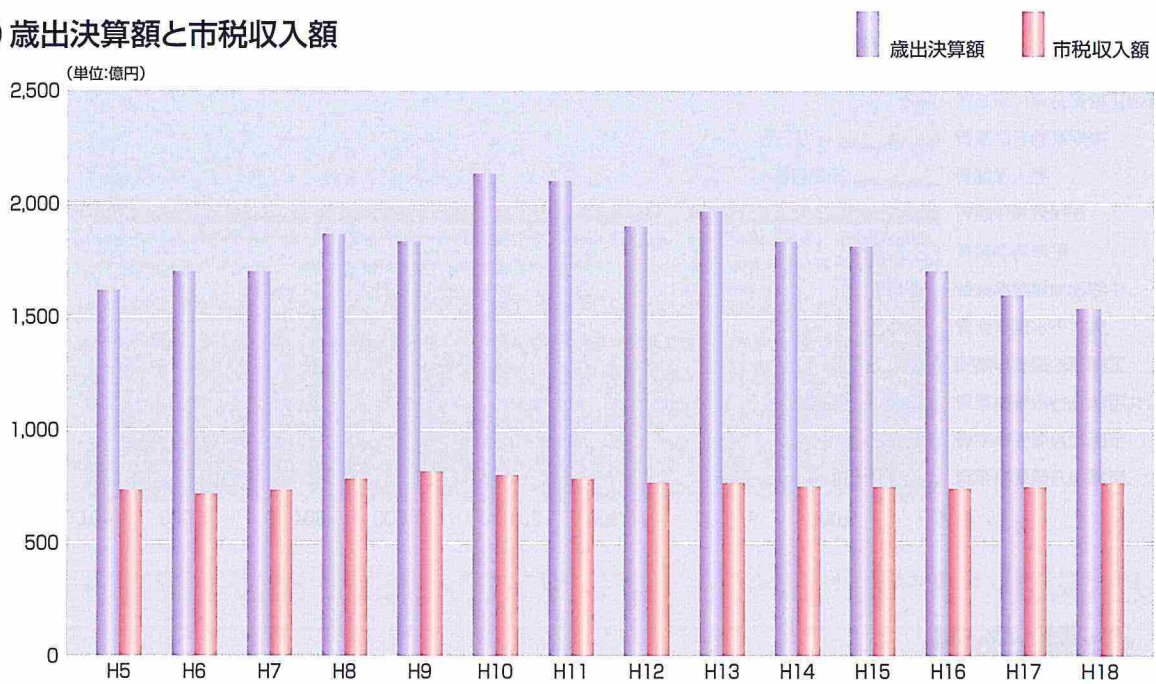
### 5. 市税の状況

(市民 1 人当たり平均)  
平成20年2月1日現在 (推定)  
455,697人



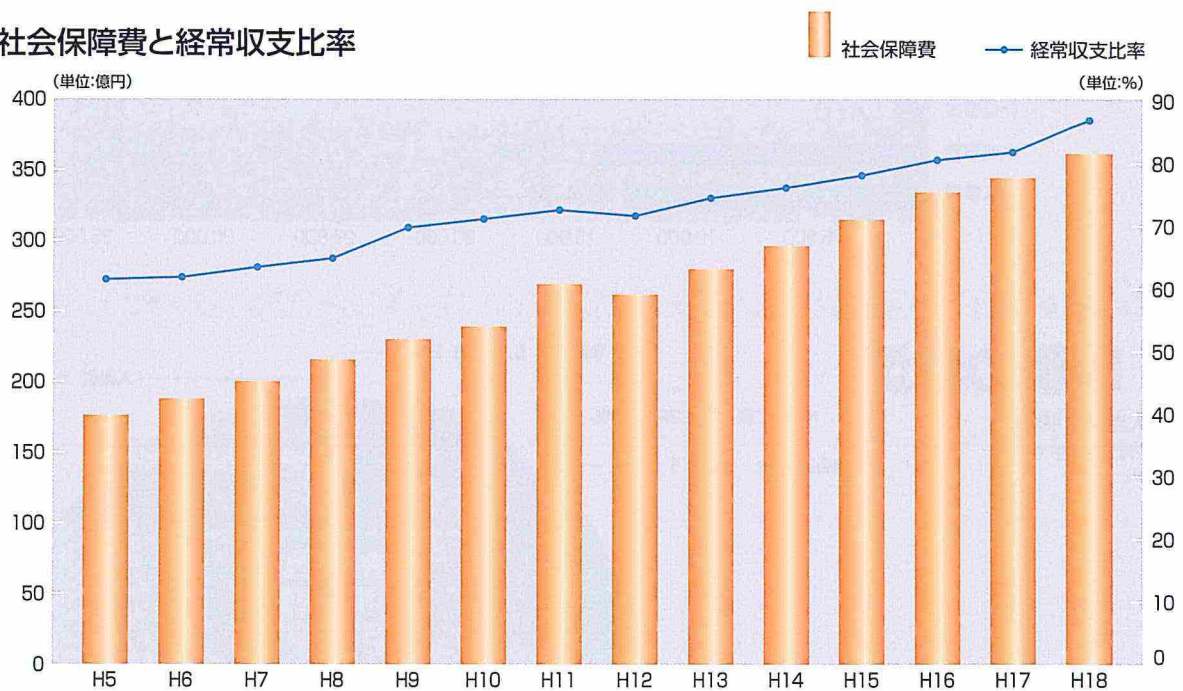
# 1. 財政の状況と推移

## (1) 歳出決算額と市税収入額



中期財政計画の実践により、公共事業費規模の適正化を図るなど、歳出決算額は減少傾向にあります。この間、市税収入は、ほぼ横ばいに推移しています。

## (2) 社会保障費と経常収支比率

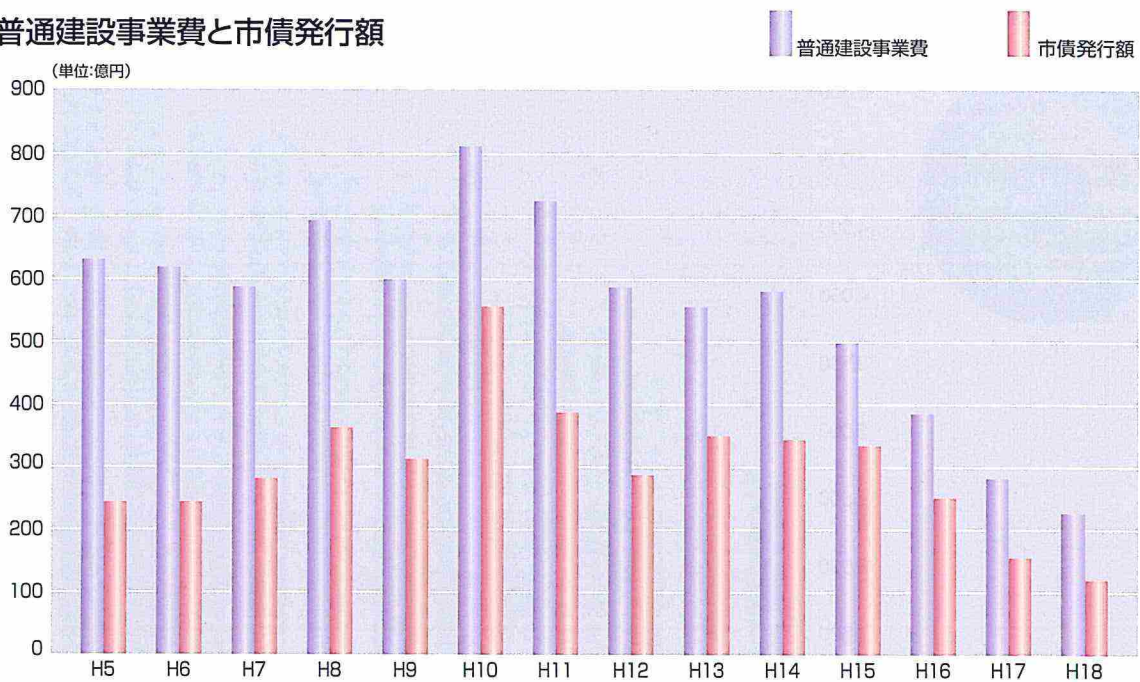


高齢化の進展等に伴って、扶助費などの福祉関係経費が増加しています。このため、景気対策に伴う公債費の増加も相俟って、財政の弾力性を示す経常収支比率は、年々上昇を続けています。

社会保障費……高齢者等の医療費の助成や保育所の運営費などの経費及び介護保険費特別会計への繰出など

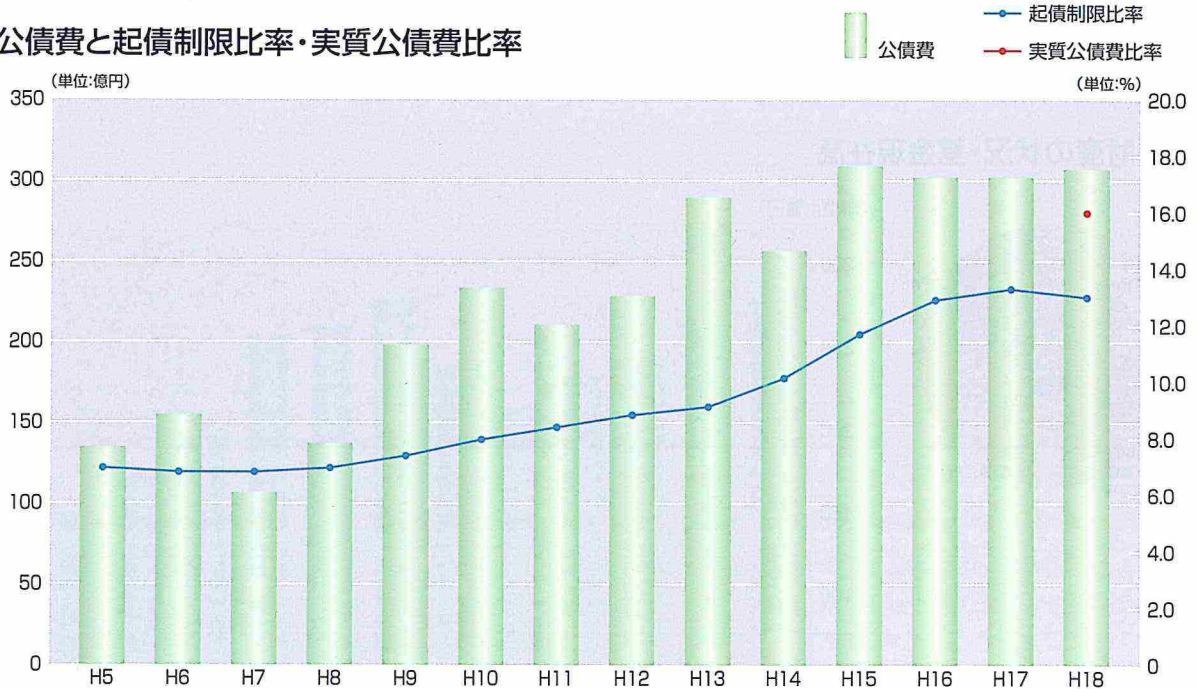
経常収支比率……地方税、地方交付税等を中心とする経常的に収入される一般財源が、人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費にどの程度充当されているかを示す割合。この比率が高いほど財政構造に弾力性がなく硬直化している。

### (3) 普通建設事業費と市債発行額



バブル崩壊後、国・地方をあげて、景気対策のための公共事業を積極的に行ってきた結果、普通建設事業費は10年度11年度を中心に大幅に増えました。

### (4) 公債費と起債制限比率・実質公債費比率



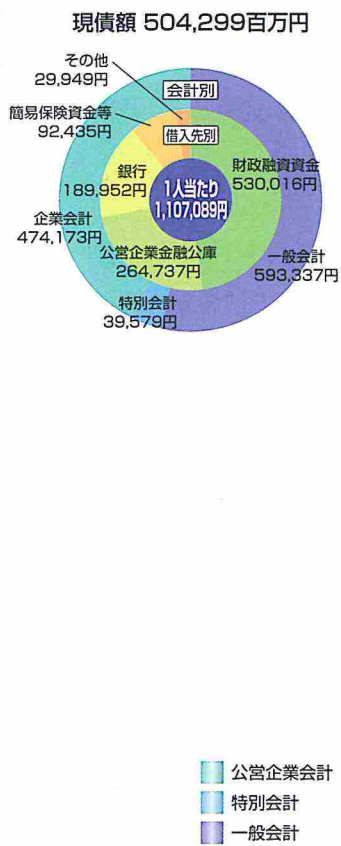
起債制限比率は景気対策のための市債の借入により上昇し、14年度には10%を超えました。公債費は15年度をピークに減少傾向にあります。

公債費……市の借金である市債の償還元金及び利子

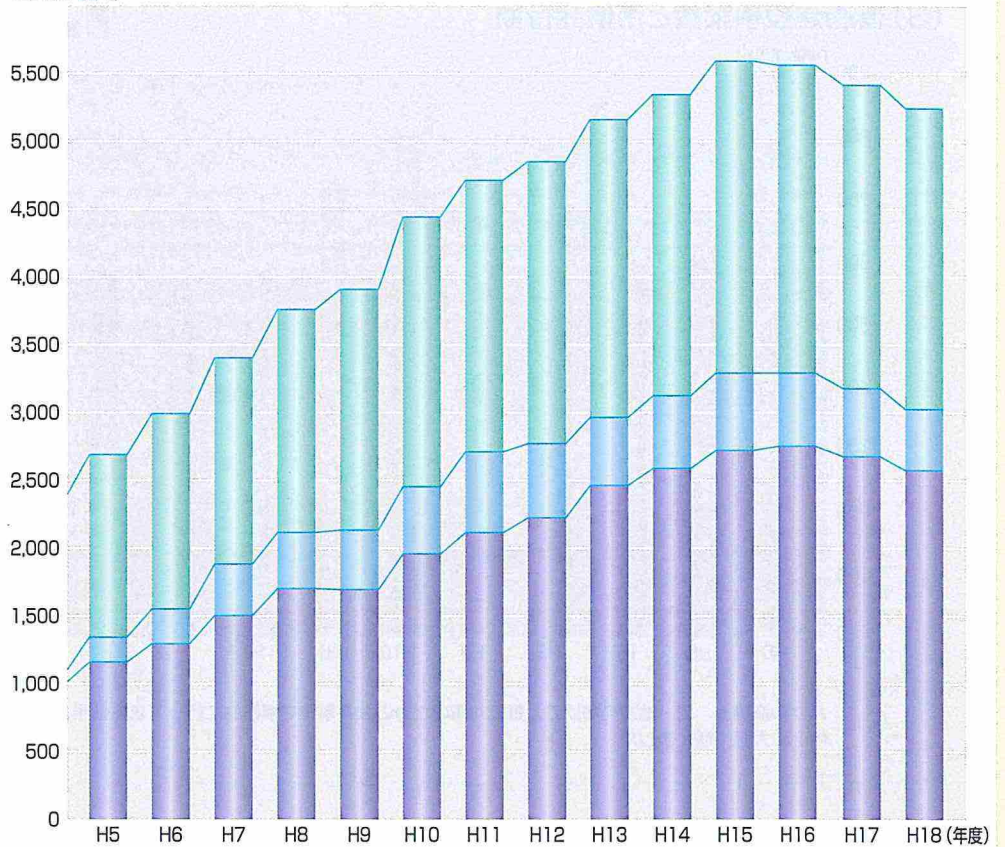
起債制限比率……公債費による財政負担の割合を判断する指標  
14%以上は警戒ライン、20%以上になると特定の起債が制限される。

実質公債費比率……公債費や公営企業債等の償還に充当した繰出金などによる財政負担の割合を判断する指標  
18%以上になると起債の許可が必要とされる。

### (5) 市債の状況・市債現在高



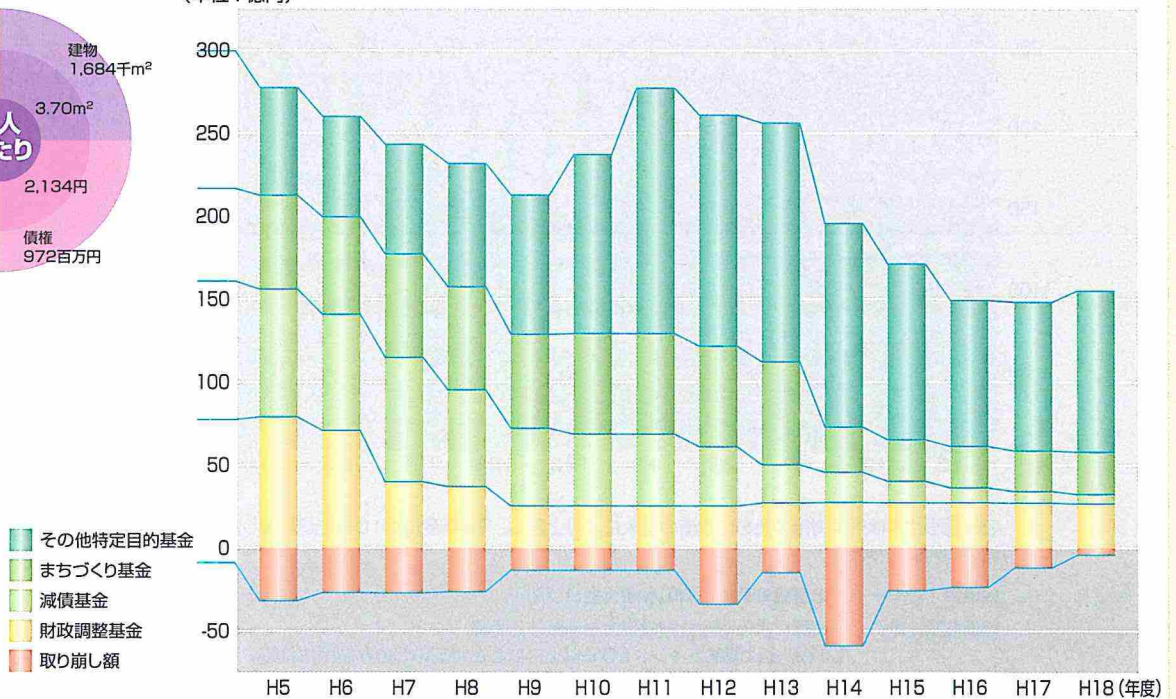
(単位：億円)



### (6) 財産の状況・基金現在高



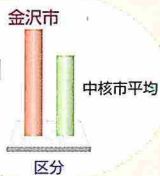
(単位：億円)



## 2. 財政の構造



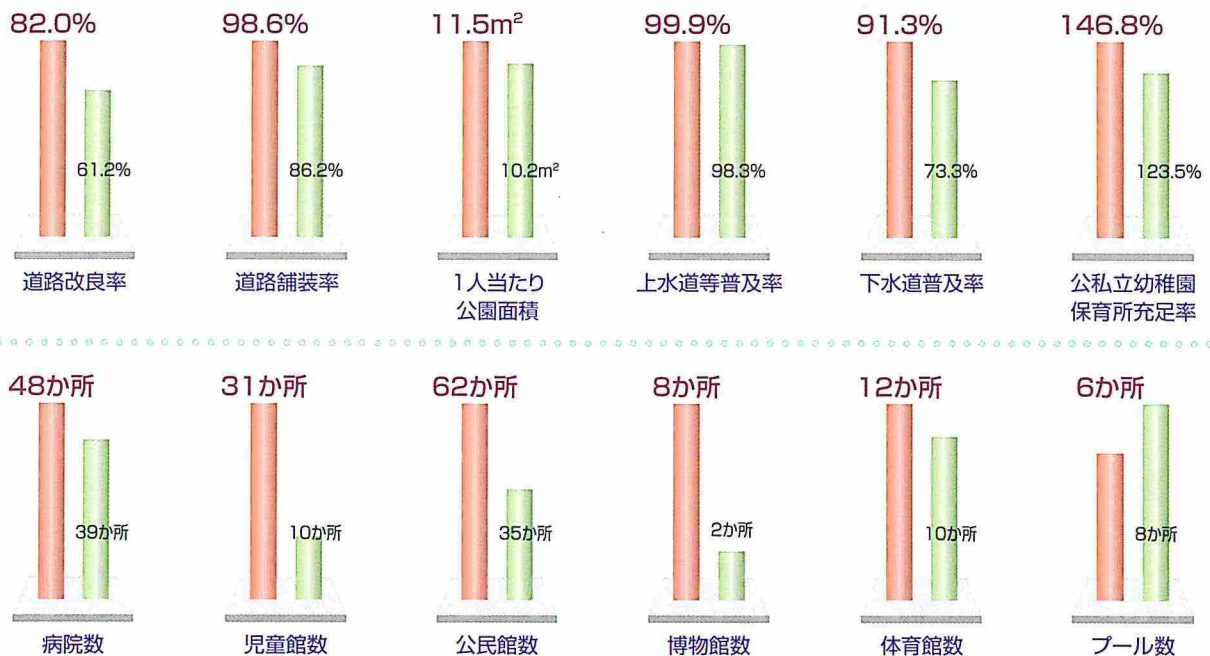
凡例



財政力指数……標準的な行政活動を行うのに必要な財源をどのくらい自分で調達できるかを表し、大きいほど財政力が強い  
 実質公債費比率…公債費や公営企業債等の償還に充当した繰出金などによる財政負担の度合を判断する指標  
 18%以上になると起債の許可が必要とされる。

経常収支比率……地方税、地方交付税等を中心とする経常的に収入される一般財源が、人件費、扶助費、公債費等の義務的性格の経常経費にどの程度充当されているかを示す割合。この比率が高いほど財政構造に弾力性がなく硬化している。

## 3. 公共施設の状況



※中核市平均は、平成17年度決算。旭川、函館、秋田、郡山、いわき、宇都宮、川越、船橋、相模原、横須賀、新潟、浜松、豊橋、豊田、岡崎、岐阜、長野、金沢、富山、堺、東大阪、高槻、和歌山、姫路、奈良、岡山、倉敷、福山、下関、高松、松山、高知、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島市の37市の平均



金沢21世紀美術館

## 金沢市民憲章

金沢を愛するわたくしたちは、兼六園の四季のいどり、犀川・浅野川の清い流れ、山や街の豊かな緑、かおり高い伝統文化を誇りとし、希望と活力にみちたはたらく基盤と、創造性あふれる教育・文化の華さくまちづくりにつとめます。

1 ひらこう 世界と未来に 心の窓を  
1 めざそう いきいきと明るい 暮らしの創造を  
1 まもろう 美しい心と ふるさとの自然を  
1 つなごう みんなの力で まちづくりの手を  
1 きずこう 個性ゆたかな あすの金沢を

---

■写真広報金沢■平成20年5月発行■

■編集／金沢市広報広聴課■

■TEL.076-220-2033■

■FAX.076-220-2030■

Eメール：kouhou@city.kanazawa.lg.jp  
<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/>

---